

宮 崎 県 社 団 公 益 活 動

(公社) 宮崎県柔道整復師会

本誌では第77号より、各県社団が取り組まれている公益活動を紹介してきました。

続々と各県が公益社団として認可され、これまで以上に公益社団法人として地域住民を支え、公益性の高い活動を成し遂げ、公益社団としての使命と責任を果たしていくことになった。

今号は宮崎県の公益活動をお届けします！

公益社団法人 宮崎県柔道整復師会

本会は昭和9年に設立し、昭和55年2月14日に社団法人として認可され、平成22年に社団法人設立30周年を迎える事が出来ました。

平成25年4月1日付で、公益社団法人宮崎県柔道整復師会として新たな歴史を刻んでいくこととなりました。

以下、本会の公益活動の一部を紹介致します。

合同保険研修会

当会は、毎年、年に一回、九州厚生局宮崎事務所、全国健康保険協会宮崎支部、宮崎県福祉保健部医療業務課、宮崎県国民健康保険団体連合会審査業務課に御協力頂き、合同保険研修会を開催いたしております。この研修会は会員の勉強にもなりますが、広く一般の方、非社団の方にも参加して頂くよう告知しております。業務内容の再確認と行政に私達の団体を理解してもらう為のものです。行政の方にも、『真面目に取り組んでいますね』と声をかけて頂きました。

公益法人になり広く門を広げて行き、少しでも県民の医療に役立つ研修会も今後、続けて行きます。

学術講習会・講演会

学術大会の特別講演で、医療法人岡田整形外科院長の福嶋秀一郎先生に「スポーツ障害について」という演題で、運動連鎖の破綻による投球障害を中心にご講演を戴きました。私たちがスポーツ障害を施術する上での大きな指針となる内容でした。

また、顧問講演では、九州保健福祉大学教授で柔道整復師国家試験委員の前田和彦先生に「公益社団の有用性と今後の療養費のゆくえ」という演題

でご講演を戴きました。年間に5000万人の国民が柔道整復師の施術を利用している現状や、保険者の意見を踏まえた上で、受領委任払い制度のこれからの展望を詳しく解説して戴きました。私たちの施術が今後も国民に必要とされるには根拠に基づく医療の実践が必須であり、そのためには常に研究し学び続けることの大切さを改めて感じました。田中寛法律事務所の田中寛先生の「クレーマー対策について～暴力的なクレーマー対策～」という演題でご講演を戴きました。クレーマーと苦情の区別や、暴力的クレーマー対策の基本について解説して戴きました。

学術研修会

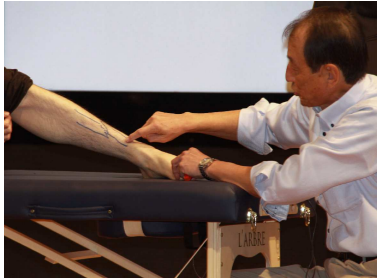


開会の挨拶を述べる奈須会長

私達が普段の業務の中で接する機会の少ない下腿部の骨折を、『下肢の骨折及び脱臼の鑑別診断及び整復固定』というテーマで、根本恒夫先生をお招きして学術研修会を行いました。

パワーポイントを用いて詳しく解説して戴き、その後、実技を行いました。スポーツ大会や災害時の救護の場面などで役立つ内容で、予定していた時間が足りないほど熱心な指導で、とても充実した研修会となりました。





根本先生による実技講習会

「体幹チューニング」勉強会
大石益代さんを講師として迎え「体幹チューニング」の勉強会を行いました。



熱心に取り組む会員の先生たち

会員及び一般に広く呼び掛け約60名の参加者がありました。講座内容は体幹を構造医学的根拠に基づいて行い、腹式呼吸と手技により腹圧を調整し自律神経を活性化する。また、それによって身体のひずみを取りバランスを整え自然治癒力を高める内容で、参加者は熱心に聞き入っていました。

講座終了後は二人の会員が直接大石さんの施術を受け、見ていた会員からも可動域の変化に感嘆の声があがりました。

柔道整復の指導者『モンゴル研修生』

日本伝統治療柔道整復術指導者育成の為、平成26年6月11日(水)～7月5日(土)まで、今村整骨院・奈須接骨院・やわらぎ接骨院にてモンゴル国指導者候補生2名を受け入れ研修を行いました。また、研修生を交えて、宮崎県柔道整復師会との国際交流及び意見交換会を行いました。



疼痛の評価と手技療法、モンゴル国指導者候補生法(操体法)、骨折、脱臼、打撲、捻挫、挫傷の問診、視診、触診を基に、整復、固定、後療法の技術を学び、指導者としてのスキルアップを目的とした研修を行いました。



宮崎県柔道整復師会と意見交換会
(左は、奈須会長)

6月24日に公益社団法人宮崎県柔道整復師会会長 奈須開生と共に、宮崎県知事の表敬訪問を行いました。

知事は、『本県がこういう形で貢献できるのは嬉しく思う。宮崎の美味しいものを食べて頑張ってください』と激励。2人は『柔道整復術は素晴らしい。この技術を学び、モンゴルで広めたい』と話しました。

国際青島太平洋マラソン、サポート・柔道大会救護

毎年、12月に参加者一万人以上のマラソン大会が開催されます。参加者は、日本国内は勿論、海外から参加するほどの大会です。朝の5時から会員15名体制で大会参加者に対して、テーピングを行っております。時間帯によっては、50人から100人の方が行列を作るほど好評であり、500人以上のテーピングを行っております。主催者、参加者から毎年、感謝の言葉を頂いております。

また、マラソン大会の救護活動のほかにも、年間に十数回、柔道大会の救護活動にも参加致しております。



マラソン大会 救護風景

「みやざき健康ふくしまつり」

宮崎市主催の「みやざき健康ふくしまつり」が毎年11月に開催されます。

当会は、毎年、参加させて頂き、整骨院・接骨院の体験施術を行っております。

初めて施術を受けた方が、「保険証が使えるので

すか。」と、いまだに認知度の低さに驚きますが、そこは「ぐっと」こらえて笑顔で「そうですよ、自宅近くの整骨院に是非1度行ってみて下さい。親切丁寧に診てもらえますよ。」と明るく見送ります。毎年、会員の協力のおかげで、約150名の方が来場して整骨院を体験して頂いております。公益法人の一つの事業として、今後も引き続き継続して行きたいと思っております。



上・下 体験コーナーは盛況でした

WEB会議による理事会

8年前よりWEB会議を行い、実行しております。交通費及び時間の削減につながり非常に有効です。Sobacityを使用して、会議を行う為、無料で何時間でも使用する事が可能です。セキュリティに対しても、SOBA CITYでやり取りするデータは全てSSLにより暗号化され、保護されます。大切な情報やデータが危険にさらされるようなことはありません。

今回の九州ブロック広報部長会を3月と9月にWEB会議で行いました。



(公益社団法人 宮崎県柔道整復師会
IT部長 中馬 健)